

寺井紗知子 議員

◎「駿河湾の地震」から学んだことは

問 自主防との連携など、毎年の訓練は機能したか。

答 震度4以上の地震を観測した時の職員配備体制を周知徹底して、自主防からの被害状況報告を行うことの反省点があった。

◎防災訓練のマンネリ化はないか

問 毎年同じような訓練に対し、状況に応じて対応できるような状況付与型訓練の導入はどうか。

答 独自の工夫により、マンネリ化にならないような努力をしている自主防災隊もあると聞いている。訓練項目として自主防災隊へ紹介できるように検討していきたい。

◎高齢者住宅の耐震補強工事を進めるには

問 費用の負担軽減のため、融資に対する利子補給はどうか。

答 耐震化率がなかなか進まないこともあり、利子補給制度の創設や補助金を見直すなど、様々な検討をしたい。



総合防災訓練での救出救助訓練

田中克周 議員

◎職員の採用及び異動は、どうあるべきか

問 職員採用試験委員に民間人を採用してはどうか。

答 現在、副市長、教育長等が選考委員となり、幅広い視点から人材確保に努めている。今後は、民間の優秀な人事担当者に加わっていただけると、企業等に相談したい。

問 部課長職をその部署のスペシャリストと位置づけ、みだりに異動すべきではないと考えるがどうか。

答 同じ部署にもう少し長い期間いられるよう考えたい。部課長の場合は、定年退職者やポストの数を考慮すると、期間が短くなる場合も起こりうる。

◎臨時職員・支援員の実態は

問 小・中学校の臨時講師・支援員の実態はどうか。

答 臨時講師・支援員は、全部で104名。臨時講師は、不登校や問題行動、外国人への指導の充実、特別支援教育、英語活動の充実のためである。支援員は、児童数が多い小学校1年生の学級を支援するために配置されている。



袋井市役所2Fフロア